

どい 土肥こうすけ

後援会ニュース 2022年 秋（第30号）



発行：土肥こうすけ後援会 発行責任者：出原 逸三 編集責任者：三田 哲治
〒525-0044 草津市岡本町1000番地2(ダイキン工業労働組合滋賀支部内) TEL:077-564-1153

◇ TOPIX ◇

- ①活動報告(玉木代表来滋、奈良市視察)
- ②令和5年度に向けて、各分野に予算を要望します
- ③指定ごみ袋の有料化案について



市内外での活動を報告します

国民民主党 玉木雄一郎 代表とともに草津駅前街頭演説(9月23日)

◇まじめに頑張れば報われる社会を◇

草津駅東口デッキにて、国民民主党の玉木代表とともに街頭演説を行い、私たちの「対決より解決」という基本姿勢や政策を主張したところ、道行く方々が足を止め、共感してくださっている様子が伺えました。

国民民主党の支援拡大が、県民・市民の幸せにつながると信じて積極的に活動してまいりますので、更なるご指導をご支援を賜りますようお願いいたします。

- ・まじめに働けば給料があがる。希望が持てる。結婚ができる。老後も安心できる。そんな当たり前のことが出来ない現状を打破するための経済政策を出していく。そのことについて思想的な右も左も関係ない。
- ・批判するだけでなく、必ず右手に「政策」と「対案」を携えていく。「対決より解決」の姿勢で、国民・県民・市民に寄り添う政治を進めていく。



奈良市に行政視察(8月5日)

◇子どもたちの「郷土愛」や「生きる力」を醸成する教育◇

私が所属する文教厚生常任委員会では、子どもたちの「郷土愛」や「生きる力」を醸成することを目的とした教育を進めるための調査研究を行なっております。

草津市には、本陣や芦浦観音寺などの代表的な歴史・文化資源があります。それらの活用はもちろんですが、市内各地域においても、誇るべき文化や歴史資源が存在します。

しかし、都市化が進むにつれて代々受け継がれてきた各地域での文化や歴史資源の存在感が薄れつつあり、それに伴い、子どもたちが郷土愛を抱く機会も失いつつあるのではないかと危惧しております。

こうした問題意識を持ち、解決に向けた調査をするべく、地域に散在する歴史・文化資源等を活用した教育に取り組んでいる奈良県奈良市を訪問し、担当各課からの事業説明を受け、現地を視察してまいりました。

今回の視察で得た知見を、草津市における「郷土愛の醸成」等につながる教育のために活かしてまいります。



令和5年度予算要望を提出いたしました

私が所属している「市民派クラブ」は4人の議員で構成しており、年に一度、10月に草津市行政に対して予算要望を提出しております。

予算要望とは、草津市行政が新年度予算を編成するにあたり、子育て、教育、交通、介護などのあらゆる分野について事業の効率運営や充実を求めるものです。

私たちの会派が提出した要望数は61項目あります。いずれの要望についても、日頃、市民の皆様との対話を通じて得られた項目ばかりです。

紙面都合上、すべてを掲載することは出来ませんが、働くことを軸とした安心社会の実現に向けた、各分野の要望内容について抜粋して紹介いたします。

要望① 雇用の創出および処遇改善について

1) 障がい者雇用の促進

障がい者雇用促進法を守り、誰もが働きやすい環境づくりを積極的に推進すること。また、草津市役所および草津市外郭団体における障がい者雇用を進めていただきたい。

2) 公契約条例の制定

公共事業における労働関係法令の遵守、社会保険の全面適用、適正な賃金水準および労働条件の確保のため、公契約条例の制定を求める。

3) 保育士の処遇改善

保育士の賃金が業務に見合わないことが再就職、人材確保の妨げになっているため、具体的で効果的な支援策を講じていただきたい。

4) 養護教員等の負荷軽減

通級教室の指導員や養護教員の慢性的な業務過多が見受けられる。適正な人員確保ならびに人員配置の見直しをしていただきたい。

5) 教室アシスタントの増員および社会保障適用

市費支援員(教室アシスタント)の定数を一昨年度並に戻すとともに、支援員が安心して働くことができるよう、勤務時間を週20時間以上とし、社会保障制度が適用されるよう改善していただきたい。

6) 民説民営児童育成クラブへの補助金

民設民営児童育成クラブへの補助金が、公設クラブの指定管理料と同水準になるよう、運営基準額および補助金額の引き上げを行なっていただきたい。

働く三カ方



要望② ゼロカーボンシティの実現について

1) CO2排出減に取り組む企業等への税制優遇

CO2排出量の削減に向け継続的に取り組み成果を出しているすべての企業等に対して、税制優遇などの施策を推進し、企業、市民の意識高揚に努めていただきたい。

2) 公共施設等でのCO2排出量削減

市が所有する公共施設等において、順次省エネ診断を行なうとともにESCO事業を始めとした具体的なCO2削減措置を講じていただきたい。

安全安心の三カ方



要望③ 道路交通の利便性と安全性向上について

交通の三カ年

1) 駅前ロータリー空間の混雑緩和

草津駅、南草津駅バス停の整備を早急に行うこと。朝のバス待ちが階段から続き、エスカレーター付近まで達しており大変危険である。バス停位置の見直しや、バス待ちの並び方を示す誘導線を分かりやすく引く等の対策を講じていただきたい。



2) 通学路等の安全確保

通学路の安全確保のために、道路整備の充実をすすめていただきたい。特に、路側帯だけで歩道の無い道路については重点的に行なっていただきたい。

3) 渋滞緩和策

道路渋滞緩和策として「索道」の活用を研究していただきたい。



要望④ 子どもの健全育成について

子育ての三カ年

1) 就学前児童の心身発達

運動能力の向上について高い効果があるといわれているグラウンドの芝生化を保育園・幼稚園・子ども園において早急にすすめるべく、低コスト・保全レスの芝生化事例を調査し、実施に向けた検討を進めていただきたい。



2) 熱中症対策

熱中症対策のための装置整備を草津川跡地公園内に行なっていただきたい。



要望③ ボール遊びが出来る環境の拡充

市内にある公園に健康器具の設置や、ボール遊びができる環境整備をさらにすすめていただきたい。

要望④ スポ少など競技団体への支援拡充

市民スポーツの推進と国スポ障スポに向けた強化・選手育成のため、各種大会への遠征費用支援の充実をはかっていただきたい。

要望⑤ 安全・安心な市民生活について

安全安心の三カ年

1) 介護支援

社会問題となっている「老老介護」や「介護離職」の問題を解消するための施設整備や在宅介護の支援をさらに充実していただきたい。

2) 学校での防犯対策

学校の安全対策における防犯意識の醸成とともに、不審者対策への訓練や防犯備品の整備を行なっていただきたい。

3) 鳥獣被害対策

市内特定地域で野鳥による糞害や騒音被害が発生しているため、防止対策を講じていただきたい。



新・指定ごみ袋制度案について

◇令和5年10月から焼却ごみ袋のみ有料化を、草津市が検討中

草津市環境経済部から、更なるごみの減量・リサイクルによる「資源循環型社会の構築」を目指すことを目的とした新・指定ごみ袋制度案について説明がありました。新制度案の概要は下図の通りです。

現行制度			新制度(案)			
焼却ごみ	【容量】 40L	【手数料】 1世帯につき 年間135枚 まで無料 超過した場合 1枚110円 で購入	の袋代の 有料の 化	焼却ごみ	【容量】 45L 30L 15L	【手数料】 1枚 15円 1枚 10円 1枚 5円
プラ製容器	【容量】 60L		一定枚数 無料	プラ製容器	【容量】 60L	【手数料】 1世帯につき、年間 40枚まで無料
ペットボトル	【容量】 60L			ペットボトル	【容量】 60L	超過した場合 1枚15円で購入

◇焼却ごみ袋有料化のメリット

- ・年間ごみ排出量の5～6%削減
- ・リサイクルの促進(紙ごみ・プラごみ等の資源ごみの分別促進)

・ごみ袋使用量が無料配布数(135枚)を上回った際にかかる「ごみ袋110円/枚」の精神的経済的負担解消など

年間で約2640万円(約24万枚)の購入実績があり、ゴミ袋に高額な負担を強いられている市民は少なくない

◆焼却ごみ袋有料化のデメリット

- ・年間のゴミ袋購入にかかる家計負担(約1,200円見込み)の発生
- ・乳幼児養育や、在宅介護を行なっている家庭など、ごみ排出量の多い世帯への負担増
- ・不法投棄の増加懸念 など

現行補助制度の維持・拡充を求めます

市は、令和5年10月から新制度に移行することを目指し、今後、手数料条例改正案や令和5年度予算案を上程する見通しです。今後、有料化に伴うデメリット軽減に向けて議論し、採決に臨みたいと考えています。

LINE

土肥こうすけLINE公式アカウントの登録をお願いします！



④QRコードを読み込んで友だち追加する



スマホアプリ「LINE」を通じて議会活動や、暮らしに役立つ市政情報をタイムリーにお届けたく、公式アカウントを立ち上げました。

ぜひお手元のスマートフォンから土肥こうすけ公式アカウントを「友だち追加」いただきたくお願い申し上げます。